

Title	第八十二巻第一号目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2009
Jtitle	法學研究：法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.82, No.2 (2009. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-20090228-0523">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-20090228-0523</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

森征一教授退職記念号

性犯罪者の釈放と電子監視  
—韓国における電子監視制度の分析を中心として—  
太田 達也

「大東亜国際法」理論  
—日本における近代国際法受容の帰結—  
明石 欽司

法典延期派・福澤諭吉—大隈外交期—  
高田 晴仁

東京裁判における犯罪構成要件の再訪  
—初期国際刑法史の一断面の素描—  
フィリップ・オステン

実行の着手と実行行為  
佐藤 拓磨

ヨハン・アーベルの法理論  
—物権債権峻別論の起源—  
水津 太郎

フランス民法における強迫 (violence)  
の概念  
—絶対的強迫 (vis absoluta) と強制的強迫 (vis compulsiva) の区別に関連して—  
前田 美千代

『世界最古の刑法』小考  
—田能村梅士の中国法制史論—  
中島 三知子

合併等規定の問題点  
—会社法改正部分を中心に—  
豊泉 貫太郎

瑕疵概念の変容と商法五二八条の命運  
—ドイツ商法典三七八条の制定・解釈・前  
除の経緯から—  
北居 功

序  
国分 良成

ドイツ民事訴訟法における訴訟費用取  
訴者負担の原則に関する結果責任説  
の歴史的な展開の素描  
坂原 正夫

EUの安全保障防衛政策 (ESDP)  
と世論  
田中 俊郎

続・抵当権の複数の被担保債権中の一  
個債権の保証人による代位弁済と抵  
当不動産売却代金の配当  
齋藤 和夫

沈黙の法文化  
—近代日本における法のカタチ—  
岩谷 十郎

岩倉使節団とイギリスの教育  
—使節団の教育機関視察をめぐる考察—  
太田 昭子

会社の「事業のためにする行為」の意義  
鈴木 千佳子

「私人間効力」を論ずることの意義  
小山 剛

EU競争法における和解 (settlement) 手続の導入と課題

庄司 克宏

イタリア民事司法の崩壊？  
—破産院の危機—

中村 壽宏

裁判員裁判における量刑評議について  
—法律専門家としての裁判官の役割—

小池 信太郎

イタリアの成年養子制度  
エミリー・ケンピン・シユピーリと世  
紀末チューリヒの女性問題

松浦 千誉

介護の提供と遺贈  
—アメリカにおける遺言契約をめぐって—

小石 侑子

グロテイウスははたして近代のか  
福祉サービスに関する苦情解決体制  
—消費者契約の視点から—

屋敷 二郎

日本の初期憲法思想における法実証主義と進化論

國分 典子

グロテイウスははたして近代のか  
福祉サービスに関する苦情解決体制  
—消費者契約の視点から—

山内 進

信託法上の信託か、信託類似の他の法律関係か  
—「信託」概念の全容と信託の成立認定—

七戸 克彦

竹田敏彦の通俗小説にみえる明治民法観  
正義へのアクセスと合意による紛争解決手段について

山口由紀子  
頼松 瑞生

イタリアの刑事施設の現状  
—アンティゴネ協会第四回報告書から読み取れるもの—

清水 裕樹

正義へのアクセスと合意による紛争解決手段について

カズオ・ワタナベ

「亡命ドイツ法律家」アルフレッド・C・オプラー

出口 雄一

「法論理」再考—三段論法から対話的なデフォルト論理へ—

高橋 文彦

異文化接触としての占領期法制改革—

寺内 一

よく鳴る風鈴の力学的考察

下村 裕

日本人国際ビジネスパーソンの英語力の実態分析  
—国際ビジネスに必要とされる英語力とは—

寺内 一

森征一教授略歴・主要業績